

表 5-3 障害の種類別、常用雇用身体障害者の前職退職の理由のうち個人的理由の内訳（複数回答）（％）

	全 体	視覚障害	聴言障害	肢体不自由	内部障害
通 勤 が 困 難	5.3	9.4	5.9	4.7	5.3
賃 金 ・ 労 働 条 件	20.5	24.2	21.6	19.9	20.5
仕 事 の 内 容	14.3	13.3	15.4	13.6	14.3
職 場 の 人 間 関 係	16.1	18.0	18.8	14.8	16.1
職務遂行上の支援	7.0	11.7	5.4	7.5	7.0
健康・体力上の理由	13.7	5.5	12.5	13.9	13.3
家 庭 の 事 情	10.4	10.2	10.4	10.8	10.4
そ の 他	12.6	7.8	10.0	14.8	12.6

ハ 昇進

現在の会社で昇進した経験がある者は、28.5％で、内部障害者39.2％と多くなっている。一方、聴言障害者は17.1％と少なくなっており、昇進経験について内部障害者との間で差が大きくなっている。

表 5-4 障害の種類別、常用雇用身体障害者の昇進経験の有無（％）

	全 体	視 覚 障 害	聴 言 障 害	肢 体 不自由	内 部 障 害	男	女
昇進の経験がある	28.5	25.6	17.1	32.4	39.2	31.7	25.9

ニ 職場での援助

職場での同僚からの援助について、障害があるための援助は受けていないが66.9％と何らかの援助を受けている者の33.2％を大きく上回っている。特に内部障害者は同僚からの援助を受けることが少なくなっており、一方聴言障害者、視覚障害者は日常的な援助をうけることが多くなっている。

表 5-5 障害の種類別、常用雇用身体障害者の職場の同僚から受けている援助

	全 体	視覚障害	聴言障害	肢体不自由	内部障害
%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
日 常 的	26.3	33.3	40.9	20.3	15.3
出張や旅行の際	6.9	7.2	6.3	6.3	3.8
受 け て い な い	66.9	59.5	52.8	73.4	80.9

ホ さらに改善・充実・整備が必要な事項

現在の会社で仕事を続けていく上で何らかの改善・充実・整備が必要とした者が全体の30.0％（特になし51.5％）となった。具体的な事項として、最も多かったのが「能力に応じた評価・昇進・昇格」で30.0％、次いで「コミュニケーション手段や体制の整備」が27.0％と多くなっている。能力に応じた処遇・労働条件を望む者が多くなっている。